



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和3年12月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更いたしました。

お1人様、月1回のみのお受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

日医認定産業医研修(令和3年12月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
11月9日(火)	10時～	12月7日(火)	14時～16時	働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～	更新2
	10時30分～	12月14日(火)	14時～16時	働く女性の健康管理	専門2
11月10日(水)	10時～	12月15日(水)	14時～16時	高齢労働者の安全衛生対策の進め方	更新2
11月11日(木)	10時～	12月16日(木)	14時～16時	労働災害と産業医～労働災害について産業医の知っておくべきこと～	更新2
	10時30分～	12月23日(木)	14時～16時	作業管理から健康管理へ～作業管理から健康管理に繋がる取り組みについて～	専門2
11月12日(金)	10時～	12月10日(金)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3
	10時30分～	12月17日(金)	14時～16時	アスベスト対策の新たな展開について	更新2
	11時～	12月24日(金)	14時～16時	産業保健活動の実際 産業医の業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～	専門2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
12月7日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 11月9日(火) 10時～定員に達し次第受付終了	働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～ ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・更新2	24
12月10日(金) 13:30～16:30 申込受付日時 11月12日(金) 10時～定員に達し次第受付終了	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	16
12月14日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 11月9日(火) 10時30分～定員に達し次第受付終了	働く女性の健康管理 男女雇用機会均等法の施行から35年が経ち、女性のライフスタイルの変化から、女性労働者を取り巻く環境の変化について振り返りたいと思います。ライフコースに沿った女性の健康管理のポイントを整理し、育児休業法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法など女性の就労環境を改善する法律についても解説します。	小島原 典子	生涯・専門2	24

<p>12月15日(水)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 11月10日(水) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>12月16日(木)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 11月11日(木) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>労働災害と産業医～労働災害について産業医の知っておくべきこと～</p> <p>産業医は労働者の健康をどう確保するかが職務であり、そのために行うべきことが労働安全衛生法に定められています。しかし、過労死や精神障害をはじめとした職業性疾病はそれが業務上であれば労働災害となります。そして、労働災害の発生の仕組み、災害防止の原則、取り組むべき対策には基本的事項があります。負傷(けが)でも疾病(病気)でもその原則は同じです。今回はその原則を産業医の知っておくべきこととして解説していきたいと思います。</p>	<p>中山 篤</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>12月17日(金)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 11月12日(金) 10時30分～ 定員に達し次第 受付終了</p>	<p>アスベスト対策の新たな展開について</p> <p>2020年(令2年)7月に石綿障害予防規則が改正され、建築物等の解体等作業の事前調査の実施者の資格制度の新設されたこと、その他の改正について、石綿による健康障害の基礎とともに学びます。</p>	<p>石井 義脩</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>12月23日(木)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 11月11日(木) 10時30分～ 定員に達し次第 受付終了</p>	<p>作業管理から健康管理へ～作業管理から健康管理に繋がる取り組みについて～</p> <p>産業保健活動の3管理(作業環境管理、作業管理、健康管理)のうち、産業医にとって特に馴染みが薄いのが作業管理である。ここでは、有害業務や事務機器作業、さらには在宅勤務などに対する法令やガイドライン等をもとに、産業医が知っておくべき作業管理から健康管理に繋がる取り組みに焦点をあてて解説する。</p>	<p>内田 和彦</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>24</p>
<p>12月24日(金)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 11月12日(金) 11時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>産業保健活動の実際 産業医の業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～</p> <p>産業医の実務についての解説です。具体的には、安全衛生事業計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について事例を取り入れて説明を進めたいと思っています。産業医業務の実際について、経験の浅い方の積極的な受講を歓迎いたします。</p>	<p>角田 透</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>24</p>

◆保健師・看護師研修◆

※単位等の取得はできません。

●保健師・看護師研修の申込受付開始は、すべて**11月15日(月)10時～**です。

◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、
 <web研修> **お申し込みください◆**
 ◆各研修とも、講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
12月2日(木) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 過労死等の労災認定事案を分析する～労災疾病臨床研究補助金事業の研究成果から～</p> <p>厚生労働省では労災疾病研究を一層推進する観点から、研究課題の募集を行い、補助金を交付する事業を行っています。それらの研究の中で、最近過労死等労災認定事案を、労働基準監督署の労災認定復命書をもとにデータベースを構築し分析した研究成果が発表されました。</p> <p>その研究成果を労災認定事案の傾向などについて、現行の認定基準や具体的な認定事例なども交えて紹介したいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	単位なし	25
12月3日(金) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 レジリエンスについて</p> <p>仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。</p> <p>EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>★重要★ web上でグループワークを行いますので、カメラ及びマイク機能が必要となります。必ずカメラ機能をオンにして、ご参加ください。有線LAN接続によるPCでの受講を強く推奨いたします。</p>	レジリエ研究所 所長/ (一社)国際EAP協会 日本支部理事長 市川 佳居	単位なし	25
12月13日(月) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 ハラスメント対策のすすめ方</p> <p>職場で起こりがちなハラスメントの事例を通して、よりよいハラスメント対策の進め方を考えます。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>★重要★ web上でグループワークを行いますので、カメラ及びマイク機能が必要となります。必ずカメラ機能をオンにして、ご参加ください。有線LAN接続によるPCでの受講を強く推奨いたします。</p>	森崎 美奈子	単位なし	20
12月20日(月) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 がん等の両立支援、職場復帰支援の体制はいかがでしょうか～事例に基づき、持続する働きのできる支援体制を考えていきましょう～</p> <p>長く付き合う病気になったがん疾患ですが、早期発見等ができるようになり、一息つきながら、働ける環境整備への意識が生まれてきているように思われます。皆さんの実際はいかがでしょうか。</p> <p>いま、厚労省の「両立支援コーディネーター」の研修がweb対応で実施されております。両立支援の言葉も、少しずつ浸透されてきている流れです。</p> <p>今後、自社での対応を、組織的に実践していくためにも、一緒に考えていきましょう。慢性疾患等に対しても同様、安心して治療できる、復帰できる職場環境等の調整が必要であることは周知のとおりです。</p> <p>実践例から、持てる力が少しでも輝けるよう、自己達成感につながるよう、職場の理解を求める職場復帰支援、“その人らしい働き方”を認める体制づくりをしていきましょう。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	単位なし	25

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
12月6日(月) 14:00～16:00	<p>衛生委員会の活用促進</p> <p>現代の職場を取り巻く労働衛生の課題は多岐に渡ります。企業が、過労死対策やメンタル対策をはじめとする様々な対策に取り組んでいくためには、衛生委員会において、各対策の方針や具体的な展開について十分に調査審議することが必要です。</p> <p>昨年来の新型コロナウイルス感染症について、職場における対策をどうするのか議論するのが正に衛生委員会であり、新型コロナウイルス感染症対策のように緊急の課題が発生した際に、衛生委員会が十分機能していなければ迅速かつ的確に対応できず、事業活動に大きな影響を与えかねません。</p> <p>この研修では、衛生委員会に関する法令や行政通達を解説した上で、衛生委員会の進め方や議題のありかたなど衛生委員会の機能を高めるためにはどうすれば良いかを考えていきます。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	野村 みどり	単位なし	12

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

●人事・労務・衛生管理者研修の申込受付開始は、すべて**11月15日(月)10時～**です。

◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、
 <web研修> **お申し込みください**◆
 ◆各研修とも、講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
12月2日(木) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 過労死等の労災認定事案を分析する～労災疾病臨床研究補助金事業の研究成果から～</p> <p>厚生労働省では労災疾病研究を一層推進する観点から、研究課題の募集を行い、補助金を交付する事業を行っています。それらの研究の中で、最近過労死等労災認定事案を、労働基準監督署の労災認定復命書をもとにデータベースを構築し分析した研究成果が発表されました。</p> <p>その研究成果を労災認定事案の傾向などについて、現行の認定基準や具体的な認定事例なども交えて紹介したいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	25
12月3日(金) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 レジリエンスについて</p> <p>仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。</p> <p>EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>★重要★ web上でグループワークを行いますので、カメラ及びマイク機能が必要となります。必ずカメラ機能をオンにして、ご参加ください。有線LAN接続によるPCでの受講を強く推奨いたします。</p>	レジリエ研究所所長/ (一社)国際EAP協会 日本支部理事長 市川 佳居	25
12月13日(月) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 ハラスメント対策のすすめ方</p> <p>職場で起こりがちなハラスメントの事例を通して、よりよいハラスメント対策の進め方を考えます。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>★重要★ web上でグループワークを行いますので、カメラ及びマイク機能が必要となります。必ずカメラ機能をオンにして、ご参加ください。有線LAN接続によるPCでの受講を強く推奨いたします。</p>	森崎 美奈子	20
12月20日(月) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 がん等の両立支援、職場復帰支援の体制はいかがでしょうか～事例に基づき、持続する働きのできる支援体制を考えていきましょう～</p> <p>長く付き合う病気になったがん疾患ですが、早期発見等ができるようになり、一息つきながら、働ける環境整備への意識が生まれてきているように思われます。皆さんの実際はいかがでしょうか。</p> <p>いま、厚労省の「両立支援コーディネーター」の研修がweb対応で実施されております。両立支援の言葉も、少しずつ浸透されてきている流れです。</p> <p>今後、自社での対応を、組織的に実践していくためにも、一緒に考えていきましょう。慢性疾患等に対しても同様、安心して治療できる、復帰できる職場環境等の調整が必要であることは周知のとおりです。</p> <p>実践例から、持てる力が少しでも輝けるよう、自己達成感につながるよう、職場の理解を求める職場復帰支援、“その人らしい働き方”を認める体制づくりをしていきましょう。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	25

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
12月6日(月) 14:00～16:00	<p>衛生委員会の活用促進</p> <p>現代の職場を取り巻く労働衛生の課題は多岐に渡ります。企業が、過労死対策やメンタル対策をはじめとする様々な対策に取り組んでいくためには、衛生委員会において、各対策の方針や具体的な展開について十分に調査審議することが必要です。</p> <p>昨年来の新型コロナウイルス感染症について、職場における対策をどうするのか議論するのが正に衛生委員会であり、新型コロナウイルス感染症対策のように緊急の課題が発生した際に、衛生委員会が十分機能していなければ迅速かつ的確に対応できず、事業活動に大きな影響を与えかねません。</p> <p>この研修では、衛生委員会に関する法令や行政通達を解説した上で、衛生委員会の進め方や議題のありかたなど衛生委員会の機能を高めるためにはどうすれば良いかを考えていきます。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	野村 みどり	12